Technical Report Documentation Page

13

1. Report No.	2. Government Accession No.	3. Recipient's Catalog No.		
UMTRI-2011-2				
4. Title and Subtitle 路上における男性と女性ドライバー間の相互作用の理解に ついて		5. Report Date		
		January 2011		
		6. Performing Organization Code		
		383818		
7. Author(s) Michael Sivak and Brandon Schoettle		8. Performing Organization Report No.		
		UMTRI-2011-2		
		10. Work Unit no. (TRAIS)		
The University of Michigan				
Transportation Research Institute		11. Contract or Grant No.		
2901 Baxter Road				
Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.				
12. Sponsoring Agency Name and Address		13. Type of Report and Period Covered		
The University of Michigan		14. Sponsoring Agency Code		
Sustainable Worldwide Transportation				
15. Supplementary Notes				
The current members of Sustainable Worldwide Transportation include Autoliv				
Electronics, Bosch, FIA Foundation for the Automobile and Society, General Motors,				
Honda R&D Americas, Meritor WABCO, Nissan Technical Center North America,				
Renault, and Toyota Motor Engineering and Manufacturing North America.				
1		tion is available at:		
http://www.umich.edu/~umtrisv	<u>wt</u>			
		16. Abstract		
事故に関与したドライバーは事故直前に潜在的に他のドライバーの性別を確認する				
ことができると思われる、本研	究ではその二車両間の事故に			
		おける6つの幾何学的シナ		
リオを元に性別の影響を検討	究ではその二車両間の事故に	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 まへの事故は少なくなる傾		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせ 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への した。この結果のパターンは、	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるといる 性別による固有の操作スキル	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への した。この結果のパターンは、 バーの起こす行動への期待の	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい 性別による固有の操作スキル 差など、性別間への様々なショ	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ ナリオの暴露が原因かもし		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への した。この結果のパターンは、 バーの起こす行動への期待の れない。男女間へ暴露される	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい 性別による固有の操作スキル 差など、性別間への様々なショ	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ ナリオの暴露が原因かもし ライバーの性別に基づいた		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への した。この結果のパターンは、 バーの起こす行動への期待の れない。男女間へ暴露される 運転行動への期待等の様々な	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい 性別による固有の操作スキル 差など、性別間への様々なショ	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ ナリオの暴露が原因かもし ライバーの性別に基づいた		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への した。この結果のパターンは、 バーの起こす行動への期待の れない。男女間へ暴露される	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい 性別による固有の操作スキル 差など、性別間への様々なショ	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ ナリオの暴露が原因かもし ライバーの性別に基づいた		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への した。この結果のパターンは、 バーの起こす行動への期待の れない。男女間へ暴露される 運転行動への期待等の様々な	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい 性別による固有の操作スキル 差など、性別間への様々なショ	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ ナリオの暴露が原因かもし ライバーの性別に基づいた		
リオを元に性別の影響を検討 ナリオに関与した男性と女性ド との比較を行った。予想される づいている。結果としては、予 向にあり、女性から女性への調 した。この結果のパターンは、 バーの起こす行動への期待の れない。男女間へ暴露されるト 運転行動への期待等の様々な 性をいずれも困難にしている。	究ではその二車両間の事故に した。もし性別間の相互作用が ライバーの様々な組み合わせの 頻度は、男性と女性ドライバー 想される頻度より男性から男性 事故は多くなる傾向にあるとい 性別による固有の操作スキル 差など、性別間への様々なシェ ジナリオに関する情報不足の	おける6つの幾何学的シナ 無い場合の実際の事故シ の頻度と、予想された頻度 による年間走行距離に基 たの事故は少なくなる傾 う特定の事故シナリオを示 の差や、性別によるドライ ナリオの暴露が原因かもし ライバーの性別に基づいた 見状は、これら仮説の説得		

None

None